



あぶらじませんぼんまつばら

50

油島千本松原

- 所在地／海津市海津町油島地先長良川右岸堤沿
- 規模／幅 0.02～0.05km、長さ 1km、面積 3ha、樹齢 200 年
- 指定／岐阜県史跡指定、県立自然公園特別指定地域
- 問合せ／海津市商工観光課商工振興係 電話 0584-66-2431

岐阜県



立地環境

木曾三川下流域の長良川と揖斐川合流点締切堤約 1km に渡り、水郷公園と一体化し、治水の歴史にふれあうことができます。

松原の今昔物語

宝暦治水「千本松原」

当地域は木曾三川下流域のため、毎年のように洪水に悩まされ、当時の庄屋たちは幕府に対して幾度も進言し、宝暦 3 (1753) 年 12 月 25 日薩摩藩へ「濃州、勢州、尾州川々の御普請御手伝」の命が下りました。薩摩藩は苦渋の決断を下し、家老平田靱負以下 947 名が鹿児島を発ち、宝暦 4 年 2 月 27 日大牧本小屋で鋳入れが始まりました。木曾三川下流域を 4 工区に分け、堤防修復、猿尾の築立などの工事が行われ、なかでも難工事は洗堰、締切堤工事で、期間中多くの病者、自刃者を出し、多額の工事費も費やすなど大きな犠牲を払いました。工事が完成し、幕府の検分後、平田靱負は工事の責任を負って宝暦 5 年 5 月 24 日早朝に大牧の役館（工事の本小屋）で割腹したといわれます。残された藩士たちは、故郷に帰る前に日向より取り寄せた松を、亡くなった犠牲者の魂とここに眠らんと涙して植えたといわれ、今日にいらっています。

COLUMN

千本松原周辺は昭和 62 年に公園化され、治水学習館などが整備されました。65m 展望タワーからは濃尾平野が一望できます。長良川ではレガッタ、トライアスロンなど、また公園内ではチューリップ祭りなど、四季を通じて催しがおこなわれ、都心のオアシスとして家族連れでにぎわいます。千本松原には治水神社があり、毎年 4 月 25 日の春期大祭は盛大に、10 月 25 日の秋季大祭はしめやかにおこなわれます。

ACCESS

●電車やバスの場合

近鉄養老線石津駅下車、市バス 10 分。
または多度駅よりタクシー 10 分。名鉄津島線佐屋駅よりタクシー 15 分

●車の場合

東京方面／東名阪自動車道「弥富」I.C. より 20 分
大阪方面／東名阪自動車道「桑名東」I.C. より 20 分

